

～第6回 千葉県営水道事業中期経営計画評価会議 議事要旨～

議事（1） 千葉県営水道事業中期経営計画における令和2年度の目標について

千葉県営水道事業中期経営計画における令和2年度の目標について、資料1、資料2を用いて事務局から説明し、委員から意見・質疑を受けた。

<基本目標1 「強靱」な水道の構築>

[意見・質疑応答]

(委員) ハッ場ダムが完成することで、令和2年度以降は、暫定水利権は全て解消するのでしょうか。これにより費用には影響するのでしょうか。

(企業局) 完成することで、建設中の水源は全て安定化します。費用面については、これまではダム建設等の事業費がかかっていましたが、今後は維持管理費が発生します。

(企業局) 水源の安定化に伴い減価償却費が発生します。これは現金支出を伴うものではないので現金収支上は建設事業費の支出が減りますが、当期損益では減額要因となります。

(座長) ハッ場ダムについては企業局が事業主体ではないので評価対象とはしていないものです。ただ、ダム完成後も事後処理があるので、柔軟に対応していただきたいと思います。

(委員) 妙典給水場遠隔監視制御設備更新について、完了が遅れることで不具合等はないのでしょうか。

(企業局) 突発的な不具合があれば修繕で対応することになります。

(座長) 铸铁管更新工事について、重要施設へ給水している管路、強度低下及び赤濁水の発生が懸念される管路の分類ごとに集計できないと、どのように進捗を評価していくか難しいと思うので、何らかの形で評価対象とする工夫をしていただきたいと思います。

(企業局) 重要性は認識しており、評価できるように次期計画で考えていきたいと思っています。

(座長) 大口径管更新の優先順位について3つの評価基準を設けているとのこと

ですが、この3つは同等なのでしょうか、それともウェイト付けされているのでしょうか。

(企業局) 管体強度、重要度、バックアップ度それぞれに配点しています。配点は概ね3分の1ずつとなっています。

(座 長) 印旛～柏井導水管2号調圧水槽等の耐震化について、3つの工事が同時施工できない理由は何でしょうか。

(企業局) 調圧水槽は水撃作用を防ぐための施設であり、工事の際は水槽を空にする必要があることから、その機能を空気弁で補完します。3工事の対象はいずれも重要路線であり、同時施工はリスクが高いと判断したためです。

(座 長) 当初計画では工期は重複していたのでしょうか。

(企業局) 多少重複していましたが、工期はずらしていました。最初の工事が遅れたため、玉突き的に遅れが生じたものです。

<基本目標2 「安全」な水の供給>

[意見・質疑応答]

(委 員) 他事業体では、水道法に定める毎日検査を市民の方が目視で行っている例もありますが、企業局では自動計測装置で24時間測定を行っていると聞いており、IOT等の観点からも、進んでいる取組だと感じています。

(座 長) 直結給水率の増加数については、具体的な裏付けがあって決めているのでしょうか。

(企業局) 過去の実績に加えて、PR効果を0.1ポイントほど見込んでいます。

(委 員) 直結給水率は、貯水槽を採用するマンションや高層建物があれば、100%にはなりえないということでしょうか。

(企業局) そのとおりです。

(委 員) そうであれば、貯水槽方式がどれだけ残るかを精査しない限り、100%を目指すのは、現実合わない目標を立てることになります。次期計画では、実情と矛盾しないようにしていただきたいと思います。

<基本目標3 お客様からの「信頼」の確保>

[意見・質疑応答]

(委員) 料金徴収一元化の記載について、追記していることは分かりますが、取組内容を読んだときに違和感があります。記載を検討していただきたいと思います。
(企業局) 局内で調整して考えていきます。

(委員) 海外研修生について、取組計画に国名を追記したほうが分かりやすいのではないのでしょうか。

(企業局) 海外研修生については、JICA が決めており、国名は事前には分からないので、実績で示せるようにしていきたいと思います。

(委員) 料金徴収一元化は素晴らしい取組です。第一期一元化でトラブルは特に無かったとのことですが、問合せ等は多かったと思われます。第二期一元化では、第一期の経験を活かして対応していただけたらと思います。

(委員) 他事業体への研修の開放はいいことだと思います。研修のみで終わらず、交流も深めていただくことを期待します。

(座長) 業務改善数 17 件とありますが、接客に係るものが多いのでしょうか。

(企業局) 業務改善数のトレンドとしてはそのとおりですが、技術的なものもあるので、それらは技術方面にフィードバックして改善しています。

<運営基盤の強化>

[意見・質疑応答]

(委員) e-ラーニングについては、手軽にできることから、従前の研修を補う手段として提案したものです。

(企業局) 今後、色々な研究などをしながら、考えていきたいと思います。

(委員) 情報化の推進について、事務部門のみでなく、技術部門への AI 活用も技術継承等の観点から必要になると思われるので、乗り遅れることなくチャレンジしていただきたいです。

(企業局) 先進事例を研究し、安全性、信頼性を確保した上で、取り組んでいきたいと思えます。

(座 長) キャリアデザインについて、個人が目標管理も含めた自らの自己開発、フォローアップをしていく仕組みはあるのでしょうか。

(企業局) 一律で行う研修の他、個人が任意で、技術研修や知事部局のパワーアップ研修などに参加できる体制となっています。

(座 長) 個人が自らレベルアップし自己実現していけるような仕組みを検討することが、人員の定着、技術継承等の観点からも望ましいと思われます。

(座 長) 人材確保について、マンパワーの量的な確保とともに質を確保していくことが問われています。

(企業局) 今後の更新事業が増えていく中で、ここ数年の職員数は増加しております。質については、研修・交流等を通じて確保していく考えです。

(座 長) 施工管理業務委託について、直営と委託の対象の考え方は、何に基づくのでしょうか。

(企業局) 断水作業や水質確認など、お客様に関わる内容の作業は重要と認識し、臨機応変に対処するために、職員が対応することとしています。

議事(2) 台風15号等に伴う千葉県営水道の対応について

台風15号等に伴う千葉県営水道の対応について、資料3を用いて事務局から報告し、委員から意見・質問を受けた。

[意見・質疑応答]

(委 員) 川崎市等では高層マンションの地下電源が水没したようですが、そのような場合、指導、改善等はしているのでしょうか。

(企業局) そのようなケースは、今回の台風15号及び19号において当局では無かったという認識です。今回問題となったのは、当局は給水を継続していたが、台風でマンションのポンプが停電し、水が送れなくなるケースでした。マンション内に直結給水栓があれば停電でも水は出ますが、その存在を知らない住民の方が多いので、そういった情報を広報等でお知らせしています。

(委 員) 公団住宅等では、直結給水栓の有無や場所は、どこに聞けば分かるのでしょうか。

(企業局) 公団住宅の管理者が、有無や場所、常時使用の可否等を把握しています。